

1、 開催日時 : 平成21年7月3日 15:00~17:00

1、 開催場所 : 檜山地区コミュニティセンター

1、 技師会理事数 23名

参加理事

阿部毅、佐藤寛、遠藤正志、宮野勇徳、三浦徹、市川聡、三浦浩子、川上登  
平澤裕之、熊谷優子、齋藤敦、高橋一彦、金子栄一、村岡利生、武田亮

欠席 (○委任状提出者)

○ 高山憲男、○ 安部真理子、○ 奈良悦子、○ 伊藤優子、○ 伊藤晃  
○ 木内優子、○ 田中喜美子、○ 高橋和則、○ 高橋稔、藤田秀文

参加理事15名、委任状提出理事9名、欠席1名、計25名で総理事の過半数を超えており  
今回の理事会は成立した。

また前回同様に東北医学検査学会の準備委員として菅原裕之 (学会長)、松橋博之の2氏  
も参加した。

1、 書記 : 武田亮 (由利担当)

1、 議事録署名人 : 宮野勇徳、佐藤寛

1、 議事内容 : 阿部会長が議長となり、次第に沿って各担当者より内容の説明をうけながら  
審議された。以下に審議内容・決定事項を示す。

議 事 議長 阿部毅会長

〈書記の選出〉

◎書記は、中央、県北、県南、由利の各支部順で行われており、今回は由利より武田亮が  
選出された。

〈議事録署名人の選出〉

◎宮野勇徳、佐藤寛の2名が選出された。

## I. 会長挨拶

6月27・28日に日臨技の生物化学分析部門研修会が秋田市で開催され、無事に終了  
してほっとしているところですが、東北医学検査学会にむけて事実上、今日の理事会から  
精力を出して皆様のお力を存分に発揮していただかないと間に合っていない状況ですの  
でお忙しいと思いますが理事の皆様にはご協力を賜りたくよろしくお願ひしたい。

理事会に参加するにあたり所属施設から技師会での立場を問われる時があると聞くこと  
があります。その際の対応として委嘱状を作成したのでご利用頂きたい。

東北医学検査学会にむけて色々ご議論し成功するよう宜しくお願ひします。

## II. 前回理事会議事録の確認 (平成21年第1回理事会)

・議事録の中の支部長の確認で「県南支部は伊藤晃理事となっているが食違いがあるかも  
しれないので確認する」の件ですが伊藤晃理事にお願ひすることが確認された。

- ・同じく支部長の確認で「中央支部はまだ決まっていない」とありましたが齋藤敦理事に  
お願いすることが確認されました。

III. 議事 -議長 : 阿部毅会長-

1) 各種表彰者推薦について

(ア) 第50回東北医学検査学会推薦者

功労賞 小原俊陰 (秋田大学医学部付属病院)

奨励賞 佐藤寛子 (秋田県健康環境センター)

(イ) 平成21年度秋田県環境・保健事業功労賞推薦者: 佐藤重雄 (由利組合総合病院)

(ウ) 叙勲推薦者: 森田盛大 (元衛生研究所所長)

会場理事に合意をもとめ了承された。

2) 精度管理保証部の変更点について

・今年度は輸血部門を追加して実施します。

・9月5日にジョイナスを会場にして精度管理の実務者研修会を開催する。

※精度管理にはスタッフがなかなか揃わなくて誰か意欲的な会員がおられたら  
推薦していただけないでしょうか

3) 新型インフルエンザについて

(ア) 秋田市保健所からの協力依頼

(イ) 秋田市内の活動に限る

(ウ) その他

(ア)から(ウ)について阿部毅会長より説明がなされた。

- 中通総合病院、市立秋田総合病院、秋田組合総合病院、秋田赤十字病院の4病院  
が新型インフルエンザ発生時の診療と検査を担っているが流行期間が長引いた時  
には市の医師会、看護協会、技師会の協力を得ながら発熱外来を維持していきたい  
意向だそうです。実際、発熱センターは一人発症しただけでは開設しません。  
人から人への感染が確認された時点で4病院の対応が始まり流行期間や4病院の  
疲労を考えながら各種団体に協力の依頼がくるという流れであります。そのよう  
な事態では各医療機関へも対応をお願いされると思うので承知していただきたい。

4) 第50回東北医学検査学会の進捗状況と協力依頼について

佐藤寛副会長より

(ア) 学会抄録集表紙デザインはサンプル表紙で進める

- 今までの抄録集49冊を各県ごとに散りばめたデザインになっているが各県7冊  
のはずが紛失のため6冊しかないの真ん中に各県のマークを入れました。

(イ) 学会実行委員会

- 先月、各施設に運営委員の推薦についてお願いの文書を送り6月30日まで派遣  
者のご連絡をお願いしたのですが現在58名のみとなっております。メイリング  
リストを使って各理事の方をお願いしてあるのでまだの施設はご協力よろしくお  
願いします。

- 実際の業務はまだ変更があると思いますが担当業務と氏名および施設名を振り分けた表を作成しました。氏名の欄に支部名が入っている箇所はまだ名前が挙がってきていない施設です。
  - 秋田労災病院さんは当日、東北地区労災病院の総会があるため10月31日の午後から1名のみ派遣となり平鹿地域振興局は新型インフルエンザの対応で参加できないと連絡がありました。
  - 第1会場の齋藤敦さんは微生物の発表がある為に会場は未定ですが微生物の会場に変更になる可能性があります。
  - 第1回の実行委員会を7月25日に開催します。場所は未定で時間は午前11時からを予定しています。
- (ウ) 学会組織図変更
- 会場の事前見学が必要だということでアトリオンで催しのない日を選んで日時を決定します。
- 〈阿部毅会長より〉
- ☆ 責任者の方は25日までに会場を見学し、場所の確認は勿論、広さの感覚等を把握してもらいたい。そして25日の実行委員会では各責任者からスタッフである会員に場所や進捗状況を説明する場にしたい。個人で見学に行った際は事務所を訪ねて「アレルギー学会と同時開催の検査技師会です」と言っていただければ催しがない限り見学が可能です。6・7階と音楽ホールには各事務所があります。
- (エ) その他
- ランチョンとレクチャーの申し込み状況ですがランチョンが2社、レクチャーが3社です。一般演題の登録状況は6月30日で60題でしたので12日まで延長しました。延長の理由として演題数の件もありますが6月進入会員の方のパスワードが日臨技から届かないのとパスワードを忘れて登録できないということがあります。
  - 演題は100題を目標にしているので皆さんもよろしく願います。
- 〈阿部毅会長より〉
- ☆ 演題数は現在75題です。理事会と並行して学術の会議をしましてそこで演題の割り振りや座長を検討しているところだと思います。
- ☆ 今までの話を振り返ると学会組織図の中の責任者は会場を見学してイメージを持って担当のスタッフを引張ってってもらいたい。
- ☆ 式典は設営が必要です。設営を自分達でやるのかイベント会社を利用するのかを決めて、もしイベント会社を使うのであればどの仕事を頼むのか等の内容を検討しておく必要がある。
- ☆ PC関係では富士通さんから18台借りる予定ですが設置も撤収も技師会となっておりますのでスタッフの方のご協力をお願いします。
- ☆ 受付関係ではアレルギー学会と同時開催ですのでアレルギー学会のプログラムと小冊子の配布もお願いします。
- ☆ 展示・広告の係には学会の命でもありますのでメーカーさんを見かけた時には協力していただけるように案内して下さい。

☆ 検査展の係には11月1日の合同講演が終了後、アレルギー学会の方で約1時間アレルギー検査を実施するという方向で話しを進めているという事でスタッフの要請がきていますからご協力よろしくをお願いします。

☆ 情報交換会ですが予算の発生する部分ですので会計と話をして心に残るようなイベントを交えながら進めていただきたいと思います。

☆ 各会場につきましては先ほど話しましたがスペースを考え椅子の配置を考えながら担当スタッフを引張っていってもらいたいと思います。

(村岡利生理事より)

式典、情報交換会、各会場の場所とその階数を示したものはあるのか。

(阿部毅会長より)

学会式典はアトリオンの第3会場、情報交換会は秋田ビューホテル4階光琳の間となっており各会場は要綱集に記載のとおりです。

(宮野勇徳理事より)

パソコン18台借りるんですが具体的に設置場所は決まっているんですか。

(阿部毅会長より)

これから煮詰めていかなければいけません。

(市川聡理事より)

プロジェクターの台数は何台ですか。

(阿部毅会長より)

富士通さんから借りるのは2台です。技師会にも2台ありますし、足りない場合は施設やメーカーにお願いすることになると思います。

※富士通さんがエプソンさんから2台借りたものを借ります。

(平澤裕之理事より)

第2会場の技術セミナーのレイアウト部分はどうすればいいですか。

(阿部毅会長より)

学術部門と打ち合わせをして下さい。第2会場の前半は一般か病理で後半が輸血で第1会場の前半は生理部門の予定です。

(高橋一彦理事より)

第4会場の五十周年特別企画は何か決まったのでしょうか。

(阿部毅会長より)

企画準備中で今まで50年の東北技師会の歴史的な物の写真、年表などを展示しそこに飲み物等をおいて休憩所をかねる予定です。

(村岡利生理事より)

アレルギー学会と共同開催ということですがどこまで共同なのですか。

(阿部毅会長より)

初日の第1・2・7会場でアレルギー学会が企画した催しがあり技師会の関与はありません。しかし3会場に入ることができます。アレルギー学会への関与としては2日目の合同講演後の検査展でアレルギー検査をすることへの手伝いだけです。受付段階でも何も関与する部分はありませんが東北医学検査学会に参加しながらアレルギー学会も聴きたいという人がいるので案内はいたします。会費もないので受付が混雑することはないと思います。

(三浦浩子理事より)

式典会場に自分たちで物を用意する場合、アトリオンから椅子等を借りればよいのですか。

(阿部毅会長より)

自分たちで設置する場合はアトリオンの地下3階に椅子や机が保管されているのでスタッフで対応しなければいけない。

(三浦浩子理事より)

本部はどこにあるのか。

(阿部毅会長より)

4階の音楽ホールの練習室を一部かりて本部とします。

(村岡利生理事より)

本部とか各会場でのトラブル時に連絡方法はどのようなのか。

(阿部毅会長より)

新潟の場合は無線を利用していました。そこで皆さんに考えていただきたいのは、先程の式典の準備をイベント会社に頼んだらその中に連絡手段の無線等も一緒に借りるなども盛り込んでいけないだろうかと考えています。その場合は費用のかかる事なので早めに業者をリストアップする必要があると思います。

(高橋一彦理事より)

第3・4会場の担当なんですけども学会式典もありますしその部分を考慮してスタッフを増やしていただけないか。

(阿部毅会長より)

当初考えたのは第4会場は展示と休憩室なのでそれほど人数は要らないだろうという予想で第3と第4をまとめた訳ですが問題があれば検討したいので具体的に増員人数が決まったら教えて下さい。

因みに施設への要請人数は各施設数の割合が同じになるように割り振りさせていただきましたので会員から多いとか少ないという話がありましたら色々な施設に「できるだけ平等にした頭数です」という事を伝えたいだけならば幸いかなと思います。

(三浦浩子理事より)

式典の飾りや賞状は別担当で椅子等の設置や進行だけでよいのでしょうか。

(阿部毅会長より)

飾り花は事務局で準備します。まずは何が必要かリストアップしてから事務局か式典部門かの割り振りをしたいと思います。

(村岡利生理事より)

式典の椅子や机の準備は自分たちでやる場合もあり得るという事でしたが式典には6名、情報交換会は9名となっているので労働量を考慮して式典準備に移行してもよいのではないかと。

(阿部毅会長より)

現在、実行委員名が58名となっていますが全員で128名となります。この限られた人数で学会運営していくわけですから協力をお願いします。

(平澤裕之理事より)

会場責任者になってるわけなんですけども会場を離れなければいけない場合のために担当者のなかでサブ的な人を擁立してもよいのか。

(阿部毅会長より)

是非お願いします。

(村岡利生理事より)

会場のパソコンを準備する担当者も決めなければいけない。

(阿部毅会長より)

映写等の割り振りは各会場のスタッフでお願いします。また借りたものを出して数を揃えて返すまでが会場の責任ですのでお願いします。

(村岡利生理事、市川聡理事より)

スライドやパソコンの動作確認はどうなっているのか。

(佐藤寛副会長より)

要綱集にウイルスチェックを済ませて下さいと最悪の事態に備えて予備のスライドを持参するよう載せてあります。

(三浦徹理事より)

学術部門で18台のパソコンとスライドをチェックします。

各会場に学術部門から一人担当者を決めて配置することにしたので担当が決まり次第に氏名を連絡したいと思います。

(村岡利生理事より)

学会の実行マニュアルは作成するのですか。

(阿部毅会長より)

今、作成中です。

(市川聡理事より)

自分も高橋一彦理事も会場責任者ですのでパソコンのトラブル時に駆けつけられない場合のために賛助会員さんの中でもよいので誰かパソコンに詳しい方を本部にでも常駐してもらえないか。

(遠藤正志副会長より)

まだ時間があるのでパソコンに強い方を学会に参加していただけるようお願いしておいてもよいのではないのでしょうか。各役割部署においてうまく回転できるようにお願いします。

(阿部毅会長より)

パソコン、プロジェクター、は予備を用意しておく方向で進めたいと思います。25日の実行委員会では大まかな流れをお話していただき各委員が役割等を把握してもらえればよいので器材の調達方法や数まできちっと仕上げなくてもかまいません。ただし学会直前にもう一度、実務者の全体の会議を開催したいと思いますのでその時点では実行マニュアルも出来上がっていると思うのでそれを見直しながら細かい点まで説明して当日を迎えるようにしたいと思っています。

(阿部毅会長より)

前後しますが学術部門から学会と精度管理についてお願いします。

(三浦徹理事より)

精度管理保証部から実務者研修会を9月5日の午後2時からジョイナスで開催を予定しています。今まで精度管理は医師会と共同の秋田県の精度管理調査、技師会として実施してきた月例サーベイと輸血等の精度管理をそれぞればらばらで実施してきたのですが今年度から一括して精度管理保証部でやるかたちになります。従事者も変わりますので実務者研修会をその日に開催します。内容としましては

今までの実務担当者からの講演と日臨技の標準化の話と今年から実施する輸血部分の話、それと予算的に血液の精度管理調査も大丈夫そうなのでその部分の話を予定しております。これはあくまでも入口にすぎないので11月頃に集計や評価の研修会を個別に開催することを考えています。精度管理保証部の方、参加してみたいと思われる方は是非とも参加して下さい。

学会の演題数等の話を別室で協議していたのですが最新で78題となっています。青森10題、岩手3題、秋田18題、山形8題、宮城10題、福島14題、新潟15題という内訳になっています。今日は微生物、輸血、生理の部門長が来ていないので演題を受付するか否かをチェックできなかったんですが来ていた部門長で協議した結果、全て問題ないということでした。ただ部門的にGFRと24時間クレアチニンの比較だと思われる演題が一般検査として届いていますが血清クレアチニンの関与もありあますので部門分けを再度検討しみる必要があると考えています。演題の締切りを12日まで延長したので15日に最終確認をして演題を受付けたら確認の葉書を至急出さなければいけない。

(葉書の件で会場内から)

メールで返信しているから要らないのではないか・・・の声がありましたが受領メールを受取れない環境を考慮し機能としてあることから演題の受領葉書を郵送することが決まりました。

(阿部毅会長より)

会場は部門別の演題数とスペース等を踏まえて決めていただきたい。

(三浦徹理事より)

後日の会議の中で決めたいと思います。

(阿部毅会長より)

シンポジウムの件はどうなっていますか。

(三浦徹理事より)

状況が今、動いているようなので最終的な内容を確認しきれていないので後日、報告いたします。

(村岡利生理事より)

名簿の一覧を見ますと10月30日の金曜日から11月1日の日曜日となっていますけれども全員が出席するわけですか。

(阿部毅会長より)

全員ではないです。事務局では10人くらいと考えています。今回、登録いただいた方の中から学会前日から参加してくれそうな人をお願いしたいと思います。しかし前日からどれくらいの人数がいれば学会当日の準備ができるか定かでないので何人必要ですと答える段階にないのが正直なところです。

(村岡利生理事より)

各施設に実行委員の要請がきている訳ですが、解釈としては10月31日と11月1日の学会開催日に参加できる人という意味ですか。

(阿部毅会長より)

そうです。学会前日に関しては実行委員の中から別途、お願いすることになりますので、その際にご協力をお願いします。

(三浦徹理事より)

前後するかもしれませんがランチョンとレクチャーの状況はどうですか。

(佐藤寛副会長より)

資料にもありますがランチョン2社にレクチャー3社です。

### Ⅲ. 事務局からの連絡

宮野勇徳理事より

1) 昨年度(平成20年度)開催された部門別研修会参加者の日臨技への登録洩れについて生理機能検査部門の研修会に登録洩れが2件判明しました。

① 平成20年 12月 21日 第3回研修会

② 平成21年 1月 18日 第4回研修会

- ・この件に関しまして会員の皆様にお詫びの文書を作成したので来週月曜日(7月5日)に配布する予定です。登録洩れが確認された場合の連絡ですが7月31日を締切日とさせていただきます。
- ・登録洩れが確認された会員様には、日臨技への研修会参加登録を行います。登録システム上4月30日で締める約束になっておりますので、大変申し訳ありませんが、点数(20点)は非加算扱いになってしまいます。
- ・これを期に他の研修会や色々な出席に対しての問い合わせがあるかもしれませんのでこちらの件も事務局の方へ連絡をお願いします。

2) 秋臨技理事(25名)への連絡網・連絡方法について

(ア) E-mailを利用

別紙に技師会役員のアドレス等の一覧を作成いたしましたのでご利用ください。

(イ) 封書などはメール便を利用

紙での案内やお知らせはこちらを利用します。

3) 事務局から施設・会員への封書・小荷物などの輸送方法について

(ア) メール便を利用する

こちらが紙ですのでメール便でのかたちになります。

以上のことから事務局からは今後、業者を通しての連絡は一切いかないこととなりますのでご協力のほどよろしくをお願いします。

4) その他

(三浦浩子理事より)

各支部の事業計画書が事務局に届いているかを確認して会計から4万円をお支払いしたいのですが、状況を教えて下さい。

(会場より)

正式な書類等を高橋和則理事が持っているはずなので各支部長にお渡しください。

(三浦浩子理事より)

メールで各支部長さんにお送りしますのでよろしくお願いします。

(三浦徹理事より)

事務局から業者を利用しての事務局と各施設間の連絡はしないとありましたが、それは技師会全体でということですか。

(宮野勇徳理事より)

秋臨技としての統一した考えなので基本的に利用しない方向でお願いします。



(宮野勇徳理事より)

先程の会計業務に関連して、今回15人の理事さんが新規での理事会役員となりました。会計業務の流れをはじめ、各担当業務を把握することが時間のない中で把握するのは大変なことだと思います。10人の経験者が残っておりますので直接聞いたりメールを活用して聞いて下さい。

(村岡利生理事より)

理事用としてメールアドレス等の一覧をいただいたわけですが、施設の会員に見せてもかまわないとかのルールがないので各理事が個人でしまっておくような形式にしたほうがよいのではないのでしょうか。

(阿部毅会長より)

個人情報としての扱いになりますので常識として理事が他の人に見られない場所に保管しておいて下さい。

個人情報の書類等には注意を促すような一言を添えるようにします。

(阿部毅会長より)

会議の中で終了後にアトリオンを見学に行くというような話がでておりましたが、ご覧のとおり時間がありませんので、こちらの会場の時間がまだ20分くらいありますから今回の議題や学会等への質問を伺う有意義な時間にしたいと思います。

(会場理事より)

支部行事の原稿を送りたいのですが秋臨技だよりの発行元がどちらなのか教えていただけますか。

(宮野勇徳理事より)

秋臨技の作成は事務局総務部です。発行は年3回となっていますので載せたい原稿がありましたら、こちらまでお願いします。

(阿部毅会長より)

最後になりますが、7月25日の会議にむけて会場をなんとか確保したいと思っておりますので担当責任者の方は学会の進み具合の説明や会場見学をして雰囲気やスペース的な説明もできるように準備しておいて下さい。

以上

社団法人 秋田県臨床検査技師会

議事録署名人 宮野 勇徳 ㊞

議事録署名人 佐藤 寛 ㊞